

# 音楽科 小学校第1学年及び第2学年の目標及び内容

## 音楽科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

## 第1学年及び第2学年の目標

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

## 第1学年及び第2学年の内容

### A 表現

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。
  - イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。
  - ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。
  - エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
- (2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏すること。
  - イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。
  - ウ 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。
  - エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
- (3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。
  - イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。
- (4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び輪唱で歌う楽曲
  - イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、主旋律に簡単なリズム伴奏や低声部などを加えた楽曲
  - ウ 共通教材〔第1学年〕
    - 「うみ」(文部省唱歌)  
林柳波(はやしりゅうは)作詞 井上武士(いのうえたけし)作曲
    - 「かたつむり」(文部省唱歌)
    - 「日のまる」(文部省唱歌)  
高野辰之(たかのたつゆき)作詞 岡野貞一(おかのていいち)作曲
    - 「ひらいたひらいた」(わらべうた)

### B 鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。
  - イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。
  - ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 我が国及び諸外国のわらべうたや遊びうた、行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽、日常生活に関連して情景を思い浮かべやすい楽曲
  - イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、親しみやすい楽曲
  - ウ 楽器の音色や人の声の特徴を感じ取りやすく親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲

### 〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
  - ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。
    - (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素
    - (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み
  - イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

## 道徳の時間との関連の例(各学校の重点項目や音楽科との関連があるものなどから)

〔第1学年及び第2学年〕

- 2 主として他の人とのかかわりに関すること。
  - (3) 友達と仲よくし、助け合う。
  - (4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。
- 3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。
  - (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。
- 4 主として集団や社会のかかわりに関すること。
  - (5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。

# 音楽科 小学校第3学年及び第4学年の目標及び内容

## 音楽科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

## 第3学年及び第4学年の目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

## 第3学年及び第4学年の内容

### A 表現

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範唱を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして歌うこと。
  - イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。
  - ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌う方で歌うこと。
  - エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
- (2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範奏を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして演奏すること。
  - イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。
  - ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
  - エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
- (3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現すること。
  - イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。
- (4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び簡単な合唱で歌う楽曲
  - イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、簡単な重奏や合奏にした楽曲
  - ウ 共通教材〔第3学年〕
    - 「うさぎ」(日本古謡)
    - 「茶つみ」(文部省唱歌)
    - 「春の小川」(文部省唱歌)
    - 高野辰之(たかのたつゆき)作詞 岡野貞一(おかのていいち)作曲
    - 「ふじ山」(文部省唱歌)
    - 巖谷小波(いわやさざなみ)作曲

### B 鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。
  - イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。
  - ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏のよさに気付くこと。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲
  - イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く楽しさを得やすい楽曲
  - ウ 楽器や人の声による演奏表現の違いを感じ取りやすい、独奏、重奏、独唱、重唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

### 〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
  - ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。
    - (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素
    - (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み
  - イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

## 道徳の時間との関連の例(各学校の重点項目や音楽科との関連があるものなどから)

〔第3学年及び第4学年〕

- 2 主として他の人とのかかわりに関すること。
  - (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
  - (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。
- 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。
  - (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。
  - (5) 郷土の文化や文化を大切に、郷土を愛する心をもつ。
  - (6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

# 音楽科 小学校第5学年及び第6学年の目標及び内容

## 音楽科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

## 第5学年及び第6学年の目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

## 第5学年及び第6学年の内容

### A 表現

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範唱を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。
  - イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。
  - ウ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない響きのある歌い方で歌うこと。
  - エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
- (2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 範奏を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏すること。
  - イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。
  - ウ 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
  - エ 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
- (3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること。
  - イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見聞しをもって音楽をつくること。
- (4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の3曲を含めて、斉唱及び合唱で歌う楽曲
  - イ 主となる器楽教材については、楽器の演奏効果を考慮し、簡単な重奏や合奏にした楽曲
  - ウ 共通教材〔第5学年〕
  - 「こいのぼり」(文部省唱歌)
  - 「子もり歌」(日本古謡)
  - 「スキーの歌」(文部省唱歌)
  - 林柳波(はやしりゅうは)作詞 橋本国彦(はしもとくにひこ)作曲
  - 「冬げしき」(文部省唱歌)

### B 鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。
  - ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。
  - イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。
  - ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
  - ア 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわりを感じ取りやすい音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲。
  - イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く喜びを深めやすい楽曲
  - ウ 楽器の音や人の声が重なり合う響きを味わうことができる、合奏、合唱を含めた、いろいろな演奏形態による楽曲

### 〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
  - ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。
    - (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素
    - (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み
  - イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

## 道徳の時間との関連の例(各学校の重点項目や音楽科との関連があるものなどから)

〔第5学年及び第6学年〕

- 2 主として他の人とのかかわりに関すること。
  - (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。
  - (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。
- 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。
  - (3) 美しいものに感動する心をや人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。
  - (7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。
  - (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。